

琉球大学学術リポジトリ

沖縄県の高校生の価値観と興味に関する調査研究（ 第一報）

メタデータ	言語: ja 出版者: 琉球大学大学院教育学研究科 公開日: 2018-06-26 キーワード (Ja): 高校生, 価値観, 興味, クラスタ分析, 学習行動 キーワード (En): 作成者: 下地, 敏洋, 島袋, 恒男, Shimoji, Toshihiro, Shimabukuro, Tsuneo メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41531

沖縄県の高校生の価値観と興味に関する調査研究 (第一報)

下地敏洋¹⁾・島袋恒男²⁾

Senior High School Students' Interests and Values in Okinawa (1st Report)

Toshihiro SHIMOJI¹⁾, Tsuneo SHIMABUKURO²⁾

Abstract

Purpose of the Study: The authors report the result of questionnaire survey on interests and values of public high school students in Okinawa.

Design and Methods: The authors carried out the questionnaire survey about high school students' interests and values at 6 prefectural high schools in Okinawa. Respondents ($N=1323$) completed the questionnaire. Questions of each category were analyzed with Cluster analysis and the results were shown by the correlations among each category.

Results: Forty-four percent of the students did not study at home at all, 70% would like to go universities or graduate schools after graduating high schools. 70.8% have already decided their future jobs, 85.5% tend to talk about their school life and future jobs with their family members, 89.7% have friends to discuss their difficulties. 36.9% have time to consult their future with teachers. Generally, girls tend to decide their future, communicate with their parents and friends compared with their counterparts. The number of students who would like to enter universities tend to decrease with grades, but have more opportunities to talk about their future with their parents with grades.

Implications: It is a good way for high school students to have more chances to talk about many topics with their parents and teachers to improve their motivation toward self-study and future jobs. In addition, career education should be introduced in high schools effectively.

キーワード：高校生, 価値観, 興味, クラスタ分析, 学習行動

1. はじめに

グローバル化による国際社会及び高度情報社会の進展, 人工知能の登場に伴い, 人々の興味・関心及び価値観も多様化しており, 高校生に及ぼす影響も大きなものがあると考えられる。

松井 (1999年) は, 日本, アメリカ, 中国を含む7ヵ国の中学生・高校生の価値観に関する研究調査を実施し, 日本の中学生及び高校生の特徴として, 自己中心性, 個人志向, 物質主義が強い傾向があることを述べている。

また, 国立青少年教育振興機構 (2015年) は, 日本・米国・中国・韓国の高校生の生活と意識に関する調査報告書で, 日本の高校生の特徴について, ①正義感や思いやりの気持ちが弱い, ②勉強の目的は「希望する仕事に就くため」, ③日本の親子関係は「友だち関係」になりつつある, ④人生の目標が一番明確ではない, ⑤自国で暮らすことに満足している, ⑥自尊感情が低い, 等を指摘している。

しかしながら, 高校生の興味・関心及び価値観 (善悪観) に関する研究発表は少ない。そのような状況の中, 調査協力者が沖縄県の高校生に限定されるものの, 高校生の興味・関心及び価値観 (善悪観) の一端について知見を得ることは, 意義があるものとする。

沖縄県は, 地理的に日本の南西に位置し, 東南アジアの玄関口として, 東南アジアを中心に諸外国との交易をはじめ, 人的交流を推進してきた歴史がある。そのことは, 沖縄県の伝統芸能や文化形成の過

¹⁾ 琉球大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻

²⁾ 琉球大学教育学部

程、思考様式及び生活習慣に対しても影響を及ぼしてきたものと考えられる。

現在、沖縄県においては高い失業率、低収入、大学進学率の低さ、就職内定率の低さ、退学率の高さ、不登校児童生徒の増加、学力など高校教育を取り巻く環境は厳しく、課題は山積している。これらの課題は、学校教育だけで克服できるものではなく、県民の英知を結集して解決すべきものである。

沖縄県教育庁(2017)によると、沖縄県高校生の国公立大学合格者は、平成27年度1,368人(1995年511人)で大学進学率も39.2%(平成28年度)と向上しているものの、全国比(54.7%：平成28年度)では最下位である。大学等志願率は、48.1%(41位：全国61.0%)であるが、平成28年度入試大学センター試験現役志願率は、28.7%(全国43.4%)で最下位となっている。

沖縄県高校生の就職内定率及び就職後の定着率(早期離職率)は全国最下位の状況であり、継続した取り組みが必要である。就職内定率93.6%(平成27年度：全国99.7%)である。

平成27年度、県立高等学校の中途退学者数は707人(1.6%)で過去最少となっている。平成25年度の中途退学率は2.6%、平成26年度が2.2%であった。平成27年度の中途退学の理由は、「進路変更」が57.9%、「学校生活・学業不適應」が12.3%となっている。

沖縄県立那覇商業高等学校の「沖縄県高校生の価値観と興味関心に関する調査研究(1996年)」によると、「価値観と興味・関心に性差が大きく、学年間では大きな差がない」、沖縄県高等学校教育においては「学習指導と生徒指導に大きな課題、特に男子の心理的発達に課題がある」と指摘している。

今回の調査研究は、現在の高校生の興味・関心及び価値観の特徴を把握することと、1993年の調査結果と比較することにより、過去20年間で変化のあった影響要因や沖縄県高校生を取り巻く環境等に関する特徴や課題を把握することで、今後の高校教育のあり方、特にキャリア教育のあり方について知見を見いだすことを目的としている。

本稿では、基礎データとして学習行動の性差及び学年差の特徴、1993年の調査研究結果との比較からみられる特徴についてのみ報告する。第2報以降において、沖縄県高校生の興味・関心及び価値観に関するクラスター分析等の統計分析結果、各因子間における相関関係、及び調査結果に影響を与えたと考えられる教育の背景要因等について述べるものとする。

2. 研究方法

(1) 調査対象者

調査は、平成8年度の調査結果と可能な限り比較検討するため、那覇地区及び近郊の普通高等学校4校、専門高等学校2校、計6校に対し、平成29年7月1日～31日の期間で実施した。各学校とも各学年2クラス(計6クラス)を対象とした。対象者は1404人で、1323人が回答し、回収率は94.2%であった。その中で、意図的な同一番号への回答、回答の判別が難しい回答等の54人を対象外とし、最終的に1269人を対象に結果分析を実施した。

表1-1 調査対象者の内訳(学校・男女別)

性・学校	A	B	C	D	E	F	計
男	82	102	72	67	22	128	473
	17.3%	21.6%	15.2%	14.2%	4.7%	27.1%	100.0%
女	135	128	146	148	198	40	795
	17.0%	16.1%	18.4%	18.6%	24.9%	5.0%	100.0%
計	217	230	218	215	220	168	1268
	17.1%	18.1%	17.2%	17.0%	17.4%	13.2%	100.0%

表1-2 調査対象者の内訳(学年・男女別)

性・学年	1	2	3	計
男	174	160	139	473
	36.8%	33.8%	29.4%	100.0%
女	271	261	264	795
	34.1%	32.8%	33.2%	100.1%
計	445	421	403	1268
	35.1%	33.2%	31.8%	100.1%

3. 結果

(1) 家庭学習時間の性差(表2-1)

家庭学習時間について、男女別に示した。質問は、「普段学校から帰ってどれくらい勉強しますか。」である。回答の「全然しない」は、男子45.1% (213人)、女子43.2% (341人)である。「30分くらい」は男子17.4% (82人)、女子20.9% (165人)、「1時間くらい」は男子21.8% (103人)、女子19.4% (153人)、「2時間くらい」は男子10.6% (50人)、女子10.4% (82人)、「3時間くらい」は男子1.9% (9人)、女子3.2% (34人)、「3時間以上」は男子3.2% (15人)、女子2.9% (23人)である。全体的に男女間において大きな違いはない。

表2-1 家庭学習の性差

	全然しない	30分くらい	1時間くらい	2時間くらい	3時間くらい	3時間以上	計
男	213	82	103	50	9	15	472
	45.1%	17.4%	21.8%	10.6%	1.9%	3.2%	100.0%
女	341	165	153	82	25	23	789
	43.2%	20.9%	19.4%	10.4%	3.2%	2.9%	100.0%
計	554	247	256	132	34	38	1261
	43.9%	19.6%	20.3%	10.5%	2.7%	3.0%	100.0%

(2) 将来の進学についての性差(表2-2)

将来の進学先について、男女別に示した。質問は、「将来どの学校まで進学したいと思っていますか。」である。回答の「高校まで」は、男子13.7% (64人)、女子6.4% (51人)である。「専門学校まで」は男子13.3% (62人)、女子20.5% (162人)、「短期大学まで」は男子0.2% (1人)、女子4.8% (38人)、「大学まで」は男子68.7% (321人)、女子63.8% (505人)、「大学院まで」は男子4.1% (19人)、女子4.5% (36人)である。

表2-2 将来の進学についての性差

	高校	専門学校	短期大学	大学	大学院	計
男	64	62	1	321	19	467
	13.7%	13.3%	0.2%	68.7%	4.1%	100.0%
女	51	162	38	505	36	792
	6.4%	20.5%	4.8%	63.8%	4.5%	100.0%
計	115	224	39	826	55	1259
	9.1%	17.8%	3.1%	65.6%	4.4%	100.0%

(3) 将来の職業についての性差(表2-3)

将来の職業について、男女別に示した。質問は、「将来つきたい具体的な職業はもう決めていますか。」である。

か。」である。「まだ決めていない」は男子34.7% (164人)、女子25.9% (206人)、「だいたい決めてい
る」は男子52.4% (248人)、女子54.9% (436人)、「はっきり決めてい
る」は男子12.9% (61人)、女子
19.1% (152人)である。

表2-3 将来の職業についての性差

	まだ決めていない	だいたい決めてい る	はっきり決めてい る	計
男	164	248	61	473
	34.7%	52.4%	12.9%	100.0%
女	206	436	152	794
	25.9%	54.9%	19.1%	100.0%
計	370	684	213	1267
	29.2%	54.0%	16.8%	100.0%

(4) 家庭での学校・将来についての会話の性差 (表2-4)

家庭での学校・将来についての会話について、男女別に示した。質問は、「過程で父母と学校のこ
とや将来のことについて話しますか。」である。回答の「全く話さない」は男子4.4% (21人)、女子
の1.5% (12人)、「ほとんど話さない」は男子16.1% (76人)、女子9.5% (75人)、「時々話す」は男子
66.2% (313人)、女子57.4% (455人)、「よく話す」は男子13.3% (63人)、女子31.7% (251人)であった。

表2-4 家庭での学校・将来についての会話の性差

	全く話さない	ほとんど話さない	時々話す	よく話す	計
男	21	76	313	63	473
	4.4%	16.1%	66.2%	13.3%	100.0%
女	12	75	455	251	793
	1.5%	9.5%	57.4%	31.7%	100.0%
計	33	151	768	314	1266
	2.6%	11.9%	60.7%	24.8%	100.0%

(5) 相談できる友人の性差 (表2-5)

相談できる友人がいるのかについて、男女別に示した。質問は、「学校で自分のことについて相
談できる友人がいますか。」である。回答の「全くいない」が男子4.7% (22人)、女子2.3% (18人)、
「ほとんどいない」は男子8.0% (38人)、女子6.5% (52人)、「少しいる」は男子63.0% (298人)、女子
59.3% (471人)、「多くいる」は男子24.3% (115人)、女子31.9% (253人)である。

表2-5 相談できる友人の性差

	全くいない	ほとんどいない	少しいる	多くいる	計
男	22	38	298	115	473
	4.7%	8.0%	63.0%	24.3%	100.0%
女	18	52	471	253	794
	2.3%	6.5%	59.3%	31.9%	100.0%
計	40	90	769	368	1267
	3.2%	7.1%	60.7%	29.0%	100.0%

(6) 先生への相談 (将来について) の性差 (表2-6)

先生への (将来についての) 相談について、男女別に示した。質問は、「将来について、先生によく

相談しますか。」である。「全く相談しない」は男子25.1% (118人), 女子22.1% (176人), 「ほとんど相談しない」は男子41.4% (195人), 女子38.9% (309人), 「時々相談する」は男子31.8% (150人), 女子36.0% (286人), 「よく相談する」は男子1.7% (8人), 女子3.0% (24人) である。

表2-6 先生への相談(将来について)の性差

	全く相談しない	殆ど相談しない	時々相談する	よく相談する	計
男	118	195	150	8	471
	25.1%	41.4%	31.8%	1.7%	100.0%
女	176	309	286	24	795
	22.1%	38.9%	36.0%	3.0%	100.0%
計	294	504	436	32	1266
	23.2%	39.8%	34.4%	2.5%	100.0%

(7) 勉強が得意の性差(表2-7)

勉強が得意について, 男女別に示した。質問は, 「勉強はどれくらい得意だと思いますか。」である。回答の「とても苦手」は男子18.9% (89人), 女子17.9% (142人), 「やや苦手」は男子21.0% (99人), 女子24.3% (193人), 「どちらともいえない」は男子49.2% (232人), 女子44.2% (351人), 「やや得意」は男子10.6% (50人), 女子13.3% (106人), 「とても得意」は男子0.4% (2人), 女子0.4% (5人) である。

表2-7 勉強が得意の性差

	とても苦手	やや苦手	どちらともいえない	やや得意	とても得意	計
男	89	99	232	50	2	472
	18.9%	21.0%	49.2%	10.6%	0.4%	100.0%
女	142	193	351	106	3	795
	17.9%	24.3%	44.2%	13.3%	0.4%	100.0%
計	231	292	583	156	5	1267
	18.2%	23.0%	46.0%	12.3%	0.4%	100.0%

(8) 家庭学習時間の学年比較(表2-8)

家庭学習時間について, 学年別について示した。「全然しない」は1年生41.9% (186人), 2年生46.7% (195人), 3年生43.5% (174人), 「30分くらい」は1年生25.2% (112人), 2年生20.1% (84人), 3年生23.7% (99人), 「1時間くらい」は1年生22.8% (101人), 2年生23.7% (99人), 3年生14.0% (56人), 「2時間くらい」は1年生9.0% (40人), 2年生7.9% (33人), 3年生14.8% (59人), 「3時間くらい」は1年生0.2% (1人), 2年生1.0% (4人), 3年生7.3% (29人), 「3時間以上」は1年生0.9% (4人), 2年生0.7% (3人), 3年生7.8% (31人) である。

表2-8 家庭学習の学年差

	全然しない	30分くらい	1時間くらい	2時間くらい	3時間くらい	3時間以上	計
1 学年	186	112	101	40	1	4	444
	41.9%	25.2%	22.8%	9.0%	0.2%	0.9%	100.0%
2 学年	195	84	99	33	4	3	418
	46.7%	20.1%	23.7%	7.9%	1.0%	0.7%	100.0%
3 学年	174	51	56	59	29	31	400
	43.5%	12.8%	14.0%	14.8%	7.3%	7.8%	100.0%
計	555	247	256	132	34	38	1262
	44.0%	19.6%	20.3%	10.5%	2.7%	3.0%	100.0%

(9) 将来の進学についての学年比較 (表 2 - 9)

将来の進学について、学年別に示した。回答の「高校まで」は1年生8.2% (36人)、2年生9.8% (41人)、3年生9.5% (38人)、「専門学校まで」は1年生15.0% (66人)、2年生17.5% (73人)、3年生21.1% (85人)、「短期大学まで」は1年生3.9% (17人)、2年生2.2% (9人)、3年生3.2% (13人)、「大学まで」は1年生70.0% (308人)、2年生67.2% (281人)、3年生59.2% (238人)。「大学院まで」は1年生3.0% (13人)、2年生3.3% (14人)、3年生7.0% (28人)である。

表 2 - 9 将来の進学についての学年差

	高校	専門学校	短期大学	大学	大学院	計
1 学年	36	66	17	308	13	440
	8.2%	15.0%	3.9%	70.0%	3.0%	100.0%
2 学年	41	73	9	281	14	418
	9.8%	17.5%	2.2%	67.2%	3.3%	100.0%
3 学年	38	85	13	238	28	402
	9.5%	21.1%	3.2%	59.2%	7.0%	100.0%
計	115	224	39	827	55	1260
	9.1%	17.8%	3.1%	65.6%	4.4%	100.0%

(10) 将来の職業についての学年比較 (表 2 - 10)

将来の職業について、学年別に示した。回答の「まだ決めていない」は1年生39.0% (173人)、2年生29.9% (126人)、3年生17.6% (71人)、「だいたい決めている」は1年生48.4% (215人)、2年生57.7% (243人)、3年生56.1% (226人)、「はっきり決めている」は1年生12.6% (56人)、2年生12.4% (52人)、3年生26.3% (106人)である。

表 2 - 10 将来の職業についての学年差

	まだ決めていない	だいたい決めている	はっきり決めている	計
1 学年	173	215	56	444
	39.0%	48.4%	12.6%	100.0%
2 学年	126	243	52	421
	29.9%	57.7%	12.4%	100.0%
3 学年	71	226	106	403
	17.6%	56.1%	26.3%	100.0%
計	370	684	214	1268
	29.2%	53.9%	16.9%	100.0%

(11) 家庭での学校・将来についての学年比較 (表 2 - 11)

家庭での学校・将来についての会話について、学年別に示した。回答の「全く話さない」は1年生2.7% (12人)、2年生3.3% (14人)、3年生1.7% (7人)、「ほとんど話さない」は1年生14.6% (65人)、2年生11.7% (49人)、3年生9.2% (37人)、「時々話す」は1年生59.5% (264人)、2年生62.9% (264人)、3年生59.8% (241人)、「よく話す」は1年生23.2% (103人)、2年生22.1% (93人)、3年生29.3% (118人)である。

表2-11 家庭での学校・将来についての会話の学年差

	全く話さない	ほとんど話さない	時々話す	よく話す	計
1 学年	12 2.7%	65 14.6%	264 59.5%	103 23.2%	444 100.0%
2 学年	14 3.3%	49 11.7%	264 62.9%	93 22.1%	420 100.0%
3 学年	7 1.7%	37 9.2%	241 59.8%	118 29.3%	403 100.0%
計	33 2.6%	151 11.9%	769 60.7%	314 24.8%	1267 100.0%

(12) 相談できる友人の学年比較 (表2-12)

相談できる友人について、学年比較を示した。回答の「全くいない」は1年生3.4% (15人)、2年生2.6% (11人)、3年生3.5% (14人)、「ほとんどいない」は1年生9.9% (44人)、2年生6.2% (26人)、3年生5.0% (20人)、「少しいる」は1年生56.1% (249人)、2年生67.2% (283人)、3年生59.1% (238人)、「多くいる」は1年生30.6% (136人)、2年生24.0% (101人)、3年生32.5% (131人)である。

表2-12 相談できる友人の学年差

	全くいない	ほとんどいない	少しいる	多くいる	計
1 学年	15 3.4%	44 9.9%	249 56.1%	136 30.6%	444 100.0%
2 学年	11 2.6%	26 6.2%	283 67.2%	101 24.0%	421 100.0%
3 学年	14 3.5%	20 5.0%	238 59.1%	131 32.5%	403 100.0%
計	40 3.2%	90 7.1%	770 60.7%	368 29.0%	1268 100.0%

(13) 先生への相談 (将来について) の学年比較 (表2-13)

先生への (将来についての) 相談は、学年比較を示した。回答の「全く相談しない」は1年生30.2% (134人)、2年生25.2% (106人)、3年生で13.4% (54人)、「ほとんど相談しない」は1年生43.7% (194人)、2年生39.9% (168人)、3年生35.3% (142人)、「時々相談する」は1年生25.2% (112人)、2年生33.7% (142人)、3年生45.5% (183人)、「よく相談する」は1年生0.9% (4人)、2年生1.2% (5人)、3年生5.7% (23人)である。

表2-13 先生への相談 (将来について) の学年差

	全く相談しない	殆ど相談しない	時々相談する	よく相談する	計
1 学年	134 30.2%	194 43.7%	112 25.2%	4 0.9%	444 100.0%
2 学年	106 25.2%	168 39.9%	142 33.7%	5 1.2%	421 100.0%
3 学年	54 13.4%	142 35.3%	183 45.5%	23 5.7%	402 100.0%
計	294 23.2%	504 39.8%	437 34.5%	32 2.5%	1267 100.0%

(14) 勉強が得意の学年差 (表 2-14)

勉強が得意について、学年別に示した。「とても苦手」は1年生19.6% (87人)、2年生18.3% (77人)、3年生16.6% (67人)、「やや苦手」は1年生23.4% (104人)、2年生22.4% (94人)、3年生23.3% (94人)、「どちらともいえない」は1年生44.9% (200人)、2年生47.1% (186人)、3年生46.2% (186人)、「やや得意」は1年生11.9% (53人)、2年生11.7% (49人)、3年生13.4% (54人)、「とても得意」は1年生0.2% (1人)、2年生0.5% (2人)、3年生0.5% (2人)である。

表 2-14 勉強が得意の学年差

	とても苦手	やや苦手	どちらともいえない	やや得意	とても得意	計
1 学年	87	104	200	53	1	445
	19.6%	23.4%	44.9%	11.9%	0.2%	100.0%
2 学年	77	94	198	49	2	420
	18.3%	22.4%	47.1%	11.7%	0.5%	100.0%
3 学年	67	94	186	54	2	403
	16.6%	23.3%	46.2%	13.4%	0.5%	100.0%
計	231	292	584	156	5	1268
	18.2%	23.0%	46.0%	12.3%	0.4%	100.0%

4. 考察

(1) 学習行動と性差

① 家庭学習時間の性差

家庭学習時間において、男子45.1%、女子43.2%が「全然しない」と回答している。全体的には男女間に大きな違いはみられない。しかしながら、男子72.8%、女子68.3%が将来「大学まで」または「大学院まで」の進学を希望していることを考慮すると、勉強時間の確保が必要であることが理解できる。平成8年度の調査においては、「全然しない」が男子66.4% (346人)、女子59.2% (367人)で、全体的には女子が男子に比べて家庭学習時間が多かった。今回の調査結果からも勉強時間の確保は十分といえない。

② 将来の進学についての性差

将来の進学先は、男子が女子に比べて、「高校まで」と回答している割合が多くなっており、この傾向は平成8年度の調査結果と同様の結果となっており、男女間に大きな変化はみられない。しかしながら、平成8年度の調査では「高校まで」は男子32.6% (169人)、女子17.6% (106人)であり、今回の調査においては数値が低くなっている。このことは、多くの生徒の進学希望先が高学歴化志向であると考えられる。また、平成8年度の調査では「大学まで」は男子43.2% (224人)、女子42.9% (259人)であり、今回の調査では数値が高くなっている。なお、「大学院」への進学希望者も、平成8年度の男子3.3% (17人)、女子2.7% (16人)と比較して、今回の調査では若干増加傾向がみられる。

③ 将来の職業についての性差

将来の職業について、男子は女子と比べて、「まだ決めていない」と回答している割合が高く、男子34.7%、女子25.9%である。「はっきり決めている」と回答した割合は、男子12.9%、女子19.1%であり、女子の方がより具体的な職業観を持っていると考えられる。平成8年度の調査結果では、「まだ決めていない」が男子34.8%、女子23.8%、「はっきり決めている」が男子13.2%、女子18.3%であった。今回の調査結果は、平成8年度の調査結果とほぼ同様の割合となっている。

④ 家庭での学校・将来についての会話の性差

家庭での学校・将来についての会話について、男子4.4%、女子1.5%が「全く話さない」と回答しているが、平成8年度の調査では男子12.0%、女子6.1%であったことから、この20年間で家庭での会話が増加したと推測される。また、「よく話す」と回答した割合は、男子13.3%、女子31.7%で、平成8年度の調査の男子9.2%、女子20.1%と比べて、その数値が高くなっている。この結果は、女子が男子よりも家庭で学校・将来のことについて会話していることも示唆している。

⑤ 相談できる友人の性差

相談できる友人がいるのかについて、「全くいない」と回答した割合は、男子4.7%、女子2.3%である。平成8年度の調査では、「全くいない」は男子11.07%、女子は2.7%であったことから、友人関係の構築が改善されていることが考えられる。また、「多くいる」は男子24.3%、女子31.9%で、平成8年度の調査における男子16.0%、女子24.5%と比べると、相談できる友人は全体的増加傾向にあること、男子よりも女子の方が相談できる友人が多いことが考えられる。

⑥ 先生への相談(将来について)の性差

先生への(将来についての)相談は、男女とも「全く相談しない」「ほとんど相談しない」が高い割合を示しており、男子66.5%、女子で61.0%である。「よく相談する」は男子1.7%、女子3.0%で、男女とも将来について教師と相談する機会が少ないことが理解できる。平成8年度の調査で、「全く相談しない」「ほとんど相談しない」の回答は、男子80.6%、女子77.4%であったことから、今回の調査結果から先生への相談機会が若干増えていると考えられる。

⑦ 勉強が得意の性差

勉強が得意の結果に、男女間で大きな差はないと考えられる。「とても苦手」と「やや苦手」と回答している割合は、男子39.9%、女子42.3%と高い。「やや得意」と「とても得意」は男子11.0%、女子13.7%であった。このことは、授業内容の理解度や学習意欲にも影響することが考えられるため、各学校の実態に沿った取り組みの必要性を示唆している。

(2) 学習行動と学年差

① 家庭学習時間の学年比較

家庭での学習時間で、「全然しない」割合は2年生46.7%が多い。平成8年度の調査においても、2年生に「全然しない」の回答が多かったが、数値では70.4% (266人) から46.7%に減少している。3年生は、1, 2年生に比べて、家庭学習時間が多く、この傾向は平成8年度の調査でも同様の結果となっている。

② 将来の進学についての学年比較

将来の進学については、学年進行とともに将来の進学について現実的及び具体的になっているものと理解できる。「大学まで」と回答した割合は、1年生70.0%、2年生67.2%、3年生59.2%である。「専門学校まで」と回答している割合も、3年生が21.1%と高くなっている。平成8年度の調査では、「高校まで」と回答した割合は3年生で28.0%と高かった。「専門学校まで」と回答した割合は、全学年ほぼ同じ数値で1年生24.0%、2年生24.3%、3年生24.4%であった。今回の調査では、3年生に「大学院」進学希望者が増えたことは特徴の一つであり、様々な機会を通して大学院の存在が身近になっていると考えられる。平成8年度の調査では、3年生3.4% (12人) が大学院を希望していた。

③ 将来の職業についての学年比較

将来の職業は、学年進行とともに、より具体的になっているといえる。3年生では、1, 2年生と比較して「まだ決めていない」の割合が低く、「はっきり決めている」が高くなっている。この傾

向は、平成8年度の調査結果とほぼ同様である。

④ 家庭での学校・将来についての学年比較

家庭での学校・将来についての会話について、3年生は1,2年生と比較して「全く話さない」と回答した割合は1.7%と少なく、「よく話す」が29.3%である。このことは、3年生になると家庭で学校や将来について話す会話が多くなっていることを示唆している。全体的な学年間の傾向は、平成8年度と同様であるが、「全く話さない」と回答した割合は全体で9.9%から2.6%に減少しているが、「よく話す」と回答した割合は15.2%から29.3%に増加していた。

⑤ 相談できる友人の学年比較

相談できる友人については、全体的に学年を通してそれほど大差はない。このことは、人間関係づくりでは学年を通して大きな変化が見られないことを示していると推測される。平成8年度の調査結果と比較しても、同様の傾向がみられるが、「まったくいない」が6.6%から3.2%に減少し、「多くいる」は20.8%から29.0%に増加しているのが特徴である。

⑥ 先生へ(将来について)の相談の学年比較

先生への相談は、学年進行とともにその割合が増えている。「全く相談しない」と回答した割合は、1年生30.2%、2年生25.2%、3年生13.4%で学年進行とともに減少傾向にある。一方、「よく相談する」と回答した割合は、1年生0.9%、2年生1.2%、3年生5.7%である。この傾向は、平成8年度の調査結果とほぼ同様であるが、今回の調査結果では数値が全体的に「全く相談しない」から「よく相談する」へシフトしているのが特徴である。

⑦ 勉強が得意の学年差

勉強が得意について、学年間に大きな差はみられない。「とても苦手」及び「やや苦手」と回答した割合は、1年生19.6%、2年生18.3%、3年生16.6%である。「やや得意」及び「とても得意」は1年生12.1%、2年生12.2%、3年生13.9%で、学年進行とともに勉強が得意な生徒が若干増える傾向にあると考えられる。

5. まとめ

今回の調査結果の学習行動をまとめるにあたり、カイ2乗検定を実施した。有意差等の詳細については、第2報以降で報告するものとする。

(1) 家庭学習時間

家庭学習をしない割合に性差、学年差はみられないが、「全然しない」割合が全体で44.0%と高くなっており、幼少期からの学習時間の確保が求められる。沖縄県教育委員会では、学習時間や進学率のアップのため、アクティブラーニング研修事業の実施、及び課題解決学習を推進を図るための研究校を指定している。

(2) 将来の進学

将来の進学希望先の割合に、性差、学年差の有意差はみられないものの、男子が女子よりも大学及び大学院に進学希望が高い特徴がみられる。また、学年間では、1年生で大学及び大学院に進学希望する割合が高く、3年生においては高校及び専門学校までの進学希望者が増える傾向にある。このことは、キャリア教育の充実を踏まえた学習時間の確保等の必要性が示されている。沖縄県教育委員会においても、進学力グレードアップ推進事業、及びキャリア教育支援事業を実施するなど取り組みの強化を図っている。

(3) 将来の職業

将来就きたい具体的な仕事の決定の有無については、 $p < 0.001$ 水準で男女間及び学年間に有意差がある。女子が男子よりも「まだ決めていない」割合が高くなっているが、「はっきり決めている」

割合は、女子が男子よりも高い。学年間では学年進行とともに「だいたい決めている」「はっきり決めている」割合が高くなっている。

(4) 家庭での学校・将来について

家庭で父母と学校のことや将来のことを話す割合は、男女間に $P < 0.001$ 水準、学年間に $p < 0.05$ 水準で有意差がある。男女間では、女子が男子よりも話す割合が高く、得に「よく話す」の割合は女子が高くなっている。また、学年間では、学年進行とともに「時々話す」「よく話す」割合が高くなっている。

(5) 相談できる友人

学校で自分のことについて相談できる友人は、男女間及び学年間に $P < 0.05$ 水準で有意差がある。男女間では女子が男子よりも相談できる友人がいる割合が高く、学年間では学年進行とともに相談できる友人がいる割合が高くなっている。

(6) 先生への相談(将来について)

将来について先生に相談するは、男女間では有意差はないが、女子が男子よりも相談する割合が高くなる傾向がある。学年間に $P < 0.001$ 水準で有意差がある。学年進行とともに「時々相談する」「よく相談する」割合が高くなっている。

(7) 勉強が得意の学年差

勉強が得意と思っている割合に男女間及び学年間で有意差はみられない。

以上のことから、沖縄県高等学校の教育においては、学習指導、社会意識、自己意識のさらなる発達のため、親と教師と生徒との関係におけるコミュニケーションや討論をもっと増やす必要があると考えられる。

本調査研究の結果は、生徒理解を深めるためでもあるが、教師と生徒との関わりが大切であり、本県のキャリア教育を支援する情報であることを強調しておきたい。

[引用文献]

沖縄県教育庁, 2017, 人材育成に係る専門委員会合—小中高の現状、課題—

沖縄県立那覇商業高等学校, 1997, 平成8年度文部省・沖縄県教育委員会指定グループ研究報告書: 沖縄県の高校生
の価値観と興味関する調査研究

国立青少年振興機構, 2015, 高校生の生活を意識に関する調査報告書—日本・米国・中国・韓国の比較—

松井羊, 1999, 日本の中学生・高校生の価値観に関する研究—日本, アメリカ, 中国, 韓国, トルコ, キプロス, ポーランドとの国際比較研究, 川村学園女子大学研究紀要, 10(1), pp.131-153

高校生の価値観の調査

(高校生へのお願い)

このアンケートは、高校生の価値観や生活スタイルを全体的にとらえて、そこから高校生の進路指導のより良いあり方を探るためになされるものです。なお、みなさんの個人情報及び秘密については、かたく守りますので、正直にお答え下さい。

学 校 名： _____ 高等学校

学 年 ・ 組： _____ 年 _____ 組

性 別：男・女（どちらかに○）

【学習行動】

次の各設問を読んで、自分にあてはまる答えの番号を○で囲んでください。

1. ふだん学校から帰ってどれくらい勉強しますか。
 1. 全然しない
 2. 30分くらい
 3. 1時間くらい
 4. 2時間くらい
 5. 3時間くらい
 6. 3時間以上

2. 将来どの学校まで進学したいと思っていますか。
 1. 高校まで
 2. 専門（専修）学校まで
 3. 短期大学まで
 4. 大学まで
 5. 大学院まで

3. 将来就きたい具体的な仕事はもう決めていますか。
 1. まだ決めていない
 2. だいたい決めている
 3. はっきり決めている

4. 家庭で父母と学校のことや将来のことを話しますか。
 1. 全く話さない
 2. ほとんど話さない
 3. 時々話す
 4. よく話す

5. 今、一緒に住んでいる家族は、あなたも含めて何人ですか。

_____人

6. 学校で自分のことについて相談できる友人がいますか。
 1. 全くいない
 2. ほとんどいない
 3. 少しいる
 4. 多くいる

7. 将来について、先生によく相談しますか。
 1. 全く相談しない
 2. ほとんど相談しない
 3. 時々相談する
 4. よく相談する

8. 勉強はどれくらい得意だと思いますか。
 1. とても苦手
 2. やや苦手
 3. どちらともいえない
 4. やや得意
 5. とても得意

【興味・関心の調査】

下記のことにに関して、あなたはどのくらい、興味・関心がありますか。項目によっては、「どのくらい気になるか」「どのくらい自分に関係があるか」「やってみたい、知ってみたい」あるいは「どのくらい感じるか」と考える回答しやすいと思います。

各問に関して、右の欄の点数に○をしてください。

	な い	全 く	関 心 が な い	興 味 が あ る	心 が あ ら か 興 味 が あ る	心 が あ ら か 興 味 が あ る	非 常 に 興 味 が あ る	
	1	2	3	4	1	2	3	4
1. アルバイト・・・・・・・・・・・・・・・・								
2. 老人ホームでのボランティア・・・・・・・・								
3. 将来の職業・・・・・・・・・・・・・・・・								
4. 教室の清掃・・・・・・・・・・・・・・・・								
5. 車を運転すること・・・・・・・・・・・・・・・・								
6. インターネット・・・・・・・・・・・・・・・・								
7. 人工知能 (AI)・・・・・・・・・・・・・・・・								
8. テストの成績・・・・・・・・・・・・・・・・								
9. 教室の汚れ・・・・・・・・・・・・・・・・								
10. 心霊現象・・・・・・・・・・・・・・・・								
11. 国際政治・情勢・・・・・・・・・・・・・・・・								
12. 戦争・平和・・・・・・・・・・・・・・・・								
13. 海外留学・・・・・・・・・・・・・・・・								

- 14. 親の仕事内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 15. 自然変異（地震・大雨など）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1	2	3	4

- 16. 日本の景気・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 17. 世界の貧困、飢餓・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 18. 自分の10年後・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 19. 経済格差・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 20. 昨年の本校卒業生の進学先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1	2	3	4

- 21. 文化祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 22. スポーツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 23. 結婚・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 24. スマートフォン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 25. 友人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1	2	3	4

- 26. 授業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 27. 援助交際・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 28. 運命・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 29. 睡眠時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

- 30. 家族・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--

【善い、悪い、どうでもよいの調査】

下記の事柄についてあなたはどのように感じますか。
各問に関して、右の欄の点数に○をしてください。

	で あ る	と も 善 く な い こ と	善 く な い こ と で あ る	ど ち ら と も 言 え な い	善 い こ と で あ る	と も 善 い こ と で あ る
	1	2	3	4	5	
1. 学校に遅刻すること	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
2. 教室への落書き	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
3. 勉強もやらずに部活に没頭する高校生	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
4. 他人の本を無断借用していること	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
5. 定期テストでのカンニング	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
6. 政治家の賄賂（わいろ）	1	2	3	4	5	
7. 授業をサボること	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
8. 授業中にジュースを飲むこと	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
9. 高校3年間の皆出席	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
10. 無免許運転	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
11. 道端への空き缶のポイ捨て	1	2	3	4	5	
12. スポーツ推薦で大学に入ること	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
13. 先生が授業を長引かせること	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
14. バイト先に遅刻すること	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| | 1 2 3 4 5 |
| 15. 徒歩での信号無視・・・・・・・・・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 16. 缶ジュースを飲みながら歩くこと・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 17. 文化祭の収益金を交通遺児募金に寄付すること・・ | <input type="text"/> |
| 18. 緊急な事故で輸血に協力すること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 19. 友人との待ち合わせに遅れること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 20. 塾で遅くまで勉強すること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| | 1 2 3 4 5 |
| 21. 授業中に他教科の勉強をすること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 22. シルバーシートで寝たふりをすること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 23. 共同募金に協力すること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 24. ガムの吐き捨て・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 25. イアリングをして登校すること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| | 1 2 3 4 5 |
| 26. 授業中に寝ること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 27. 服装違反で登校すること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 28. 夜遅くまでアルバイトをすること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 29. いじめを見ないふりすること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |
| 30. 無断外泊すること・・・・・・・・ | <input type="text"/> |

【学校生活や家庭での勉強についての調査】

次のことについて、一つだけ当てはまるところを○で囲んでください。

	あ ま た ま く ら な い	あ て は ま ら な い	あ て は ま る	よ く あ て は ま る
	1	2	3	4
1. 毎日学校に行くのが楽しい・・・・・・・・・・・・・・・・				
2. 学校でも家でもよく勉強しているほうだ・・・・・・・・				
3. 友達に恵まれているほうだ・・・・・・・・・・・・・・・・				
4. 先生を信頼して何でも話すことができる・・・・・・・・				
5. 部活には熱心に参加している・・・・・・・・・・・・・・・・				
6. 学校に行くことは私の将来に役立つ・・・・・・・・・・	1	2	3	4
7. いま勉強することは私の将来に役立つ・・・・・・・・				
8. 友達は私の人生において、かけがえのない貴重な存在だ・・				
9. よく勉強して実力をつけても、何の役に立つのか わからない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
10. この学校は、私にとって良い影響を与えている・・・・・・・・				

【あなた自身について】

次を書いてあることは、あなたにどの程度あてはまりますか。一つだけあてはまるところに○をつけてください。

	あ ま た は ま ら な い	ま つ た は ま ら な い	あ て は ま る	よ く あ て は ま る
	1	2	3	4
1. 友人から好かれるほうだ				
2. 相手の気持ちをよく考えて行動するほうだ				
3. 自分の将来のことで不安になることがよくある				
4. 将来やりたいことはだいたい決まっている				
5. 自分が損をしても他の人を助けたりすることがよくある				
6. 授業が分からなくてついていけない	1	2	3	4
7. 頭が良いほうである				
8. 毎日よく眠れる				
9. 将来のために現在の楽しみをガマンするのはつまらない				
10. 将来成功するかどうかは本人の努力次第で決まる				
11. まわりの人がどう思おうと、自分がやろうと思ったことはやるべきだ	1	2	3	4
12. どうにもならなくなった時でも、自分を理解し支えてくれる人がいると思っている				
13. 誠実さや努力が結局は世の中を動かすことが多い				
14. チャンスやツキに恵まれなければ成功など望めない				
15. 世の中のことはお金や力で決まることが多い				

ご協力ありがとうございました。